

## **Honda Access**

このたびは、Honda純正用品を  
お買いあげいただき、ありがとうございます。

この取扱説明書は、  
ご使用まえによくお読みいただき  
大切に保管してください。

- 当商品はHonda車専用です。商品の適用車種は販売店にご相談ください。適用車種以外の車に取り付けた場合、一切の責任は負えませんのでご承知おきください。
- Honda車への取り付け・配線には専門技術と経験が必要です。安全のためお買い上げの販売店にご依頼ください。
- 商品を譲られる場合には、この取扱説明書も一緒にお渡しください。

本機（ナビゲーション）を第三者に譲渡・転売、または破棄される場合には以下の内容をご留意の上、お客様自身の適切な管理のもとに対処いただきたく、お願い申し上げます。

### ■お客様のプライバシー保護のために…

- ・ハードディスクおよびメモリーに保存された個人情報を含む全てのデータ（登録リスト、メンテナンス情報など）を、本書に記載した内容にしたがって初期化（データの消去）するようにしてください。

### ■著作権保護のために…

- ・ハードディスクに保存された画像データ／音楽データ等（その他録音データ）を、本書に記載した内容にしたがって初期化（データの消去）するようにしてください。本機に著作権があるデータを著作権者の同意なく、残存させたまま、譲渡（有償、及び無償）・転売いたしますと著作権法上、著作権者の権利を侵害します。

※弊社は、残存データの漏洩によるお客様の損害等に関しては一切責任を負いかねますので、上記の通りお客様自身の適切な管理のもとに対処いただきたく、重ねてお願い申し上げます。

### ■個人情報のお取り扱いについて

個人情報保護に関する弊社基本方針、及びナビゲーション地図に登録されております個人データのお取り扱いにつきましては弊社ホームページをご覧ください。

<http://www.honda.co.jp/ACCESS/news/O401/>

保証書やアフターサービスの詳細、その他のご不明な点はお買い求めの販売店へご相談ください。

本機はあくまで走行の参考として地図や音声で案内するものですが、道路の状況や本機の精度により、不適切な案内をする場合があります。ルート案内時でも、走行中は必ず道路標識など実際の交通規制(一方通行など)にしたがって走行してください。

**事故防止のため、運転中は絶対に操作しないでください。**

- Bluetooth対応装置には技術基準適合認定を受けた無線機器を搭載しております。



T AD09-0033005

R 005WWCA0234

- 本製品には、株式会社リコーがデザイン制作したリコーJetフォントを使用しております。

ACCESS™






NetFront®

- 本製品は、データ放送BMLブラウザとして株式会社ACCESSのNetFrontを搭載しています。
- ACCESS、NetFrontは、株式会社ACCESSの日本およびその他の国における登録商標または商標です。
- 本製品のソフトウェアの一部分に、Independent JPEG Groupが開発したモジュールが含まれています。

# 本書の見かた

本書では、用途別に下記のマークを使用しています。

以下に各マークの意味を説明していますので、本書をお読みになる前によく理解しておいてください。

 アドハイス	<ul style="list-style-type: none"><li>● お車や本機のために守っていただきたいこと。 守らないとお車や本機の破損につながるおそれや正規性能を確保できないことがあります。</li><li>● 本機を使ううえで知っておいていただきたいこと。 知っておくと本機を上手に使うことができ便利です。</li></ul>
 <b>お願い</b>	お車のために守っていただきたいことを表しています。
	参照していただきたい本文のタイトル名やページ番号を表示していません。
<b>MENU</b>	本体のパネル部のボタンを表します。
<b>目的地</b>	タッチパネル部のボタンを表します。
	画面上でタッチパネル操作を表します。
:	操作を行なった結果を説明します。
	操作手順が次のステップで分けられるときの案内をします。

## 使用上の注意事項等

- デュアルサイズHDDナビコンボの操作
  - ・ 運転中の操作は避け、停車して行なってください。
  - ・ 運転中に画面を注視しないでください。
- 本機の故障、誤動作または不具合によりハードディスクに記録できなかったデータ（録音内容など）、消失したデータ、ハードディスク内の保存データについては補償できません。

# このシステムでできること

このシステムには、快適なドライブをするための様々な機能が用意されています。それぞれの機能の特長をご理解いただき、正しくご使用ください。

## ナビゲーション .....P45

表示が見やすくわかりやすい、タッチパネルコントロールと見やすい画面と音声で、わかりやすいルート案内(道案内)を行ないます。

## VICS.....P150

渋滞情報などを地図上に表示させることができます。

## ETC **別売品** .....P148、149、259~264

高速道路料金所で現金やクレジットカードなどの受け渡しを行わずに通過することができます。

## インターナビ .....別冊

携帯電話(Bluetooth機能あり)を使用して、インターナビ情報センターと通信し、快適なドライブ情報サービスを利用することができます。

## オーディオ・地上デジタルテレビ.....別冊

簡単な操作でラジオ、CD、Music Rackなどを聞いたり、停車中には、地上デジタルテレビ、DVDビデオ、外部入力の映像などを見ることができます。

# こんなにかんたん！ 行き先を決めよう

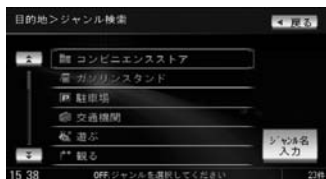
複雑そうなナビゲーションの操作、基本はそれほど難しくありません。まずは行き先を設定してみましょう。ここでは、ジャンルから選んで、行き先に決定します。

1



**MENU** ボタンを押し、  
**目的地**の**ジャンル** ボタンを  
タッチします。

2



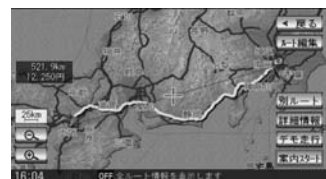
リストから“ジャンル”を選択し、  
タッチします。  
さらに細かく“ジャンル”のリストが  
表示された場合は種類を選びタッチ  
します。

8



ルート案内が開始されます。

7



全ルート表示され、案内スタート  
ボタンをタッチします。

## 画面上のボタンを選ぶには？

画面ボタンを直接タッチして選びます。



3



リストから“都道府県名”を選択し、タッチします。

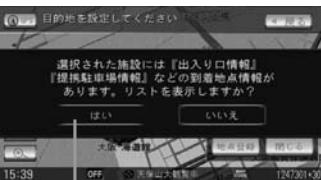
さらに“市区町村”のリストが表示された場合は、リストから選びタッチします。

4



リストから“施設”を選択し、タッチします。

6



\*  
到着地点情報画面が表示された場合、**はい** ボタンをタッチします。

5



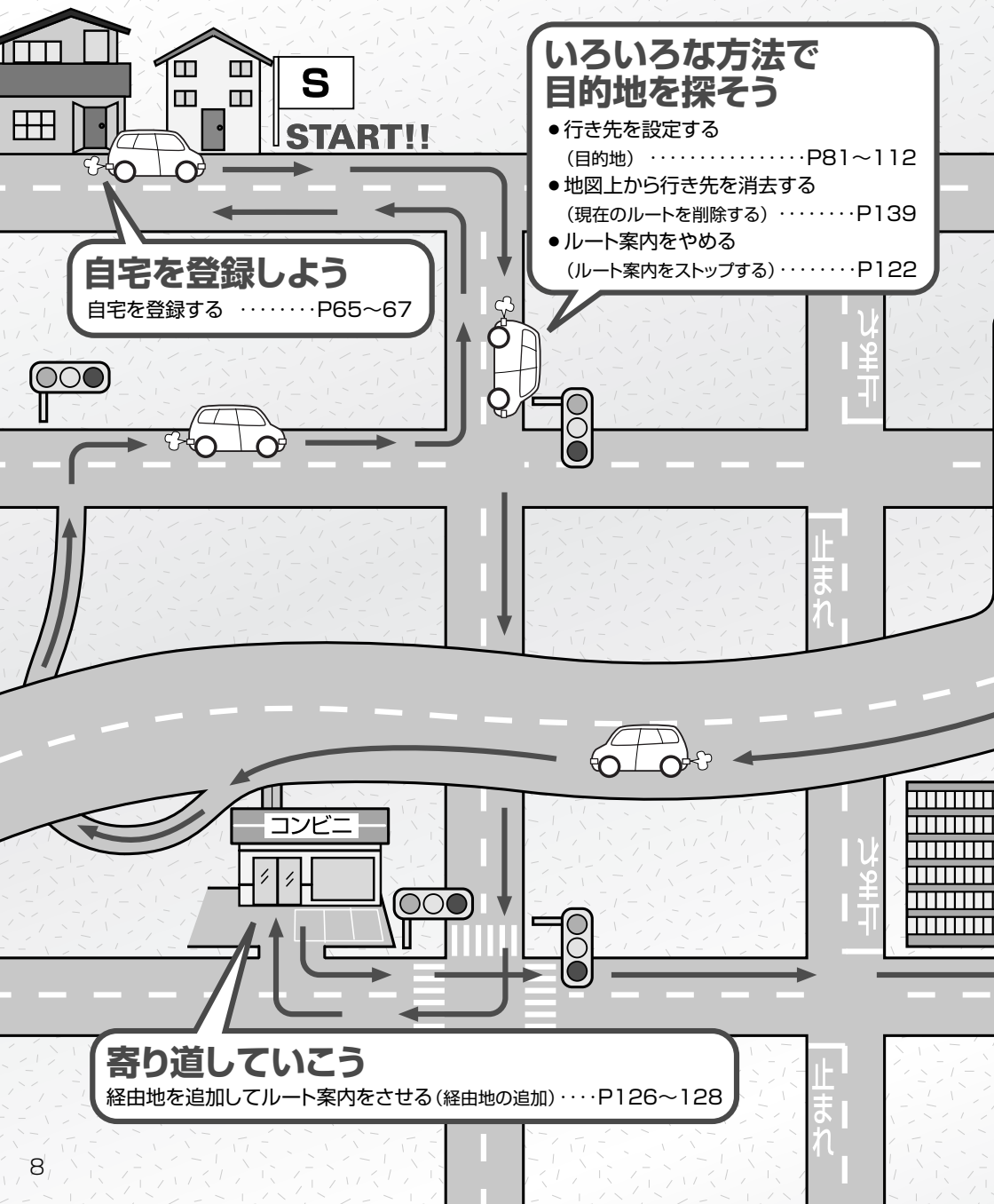
施設を中心とした地図が表示されますので、位置を確認して**目的地セット** ボタンをタッチします。



\* 印：**はい** ボタンをタッチすると、出入り口情報などの情報リスト画面が表示されます。操作手順については120ページのアドバイスをご覧ください。

# ナビでドライブ!

ナビゲーションには、ドライブ中に役立つ便利な機能が満載です。



## 自宅を登録しよう

自宅を登録する ……P65~67

## いろいろな方法で 目的地を探そう

- 行き先を設定する  
(目的地) ……P81~112
- 地図上から行き先を消去する  
(現在のルートを削除する) ……P139
- ルート案内をやめる  
(ルート案内をストップする) ……P122

## 寄り道していいよ

経由地を追加してルート案内をさせる(経由地の追加) ……P126~128

## わかりやすくナビゲーション

- ルートから外れてしまったら(再探索) ……P143
- VICSで渋滞情報を見る  
(表示について) ……P152~155
- 交差点拡大図を表示する ……P201

## 自宅へ帰りたい

自宅まで探索するには…P69

## 高速道路も大丈夫

- 有料道路を優先してルートを探索する  
(探索条件の変更) ……P130、214~217
- 高速道路情報を見る  
(ハイウェイモードを表示する) ……P202、203
- ETCを利用する  
……………P148、149、259~264

## 見やすい地図にするには?

- 地図画面の見かた(代表的な画面の表示内容について) ……P48、49
- 地図を拡大/縮小する ……P50
- 地図表示(方位)を切り替える ……P53、54
- 地図を動かす(地図スクロール) ……P55、56
- 右画面に地図を表示する ……P70



# このシステムを使いこなすヒント

●進行方向を上にして地図を表示したい

地図表示(方位)を切り替える……P53、54

●よく行く場所を登録したい

地点を登録する……P63、64

●いろいろな行きかたを同時に見たい

1ルート探索・複数ルート探索をする……P118~121

●探索したルートの全体を見よう

現在のルートを表示する ……P132、133

●VICS情報を利用したい

VICS情報を見る ……P150~175

●ETCの利用状況を見たい **別売品**

履歴を確認する ……P148

このシステムを便利に使いこなすためのいろいろなヒントをご紹介します。

● **エコドライブ度を評価したい**

エコドライブ情報を設定する・・・P180～184

● **ガソリンスタンドやコンビニなどのマークを表示させて目印にしたい**

ランドマークを設定する・・・・・・P209、210

● **走ってきた道を表示させたい**

軌跡を使う・・・・・・・・・・・・P243～245

● **案内音量を大きくしたい**

音声案内の音量を調整／案内設定をする・・・P223～226

● **ナビとオーディオを同時に表示したい**

右画面に地図／情報を表示する・・・P70～75

●音声はそのまま、画面だけ消したい

音声はそのまま画面を消す ……P283

●ルート案内しながら音楽を聞きたい

ナビゲーション画面を表示したままで  
音楽を聞く ……P285

### 別冊

- Music Rackを聞こう
- CDを聞こう
- ラジオを聞こう
- SDカード／USBメモリデバイスを  
接続して音楽を聞こう
- iPodを接続して音楽を聞いたり、  
映像を見よう
- DVDビデオを見よう
- 休憩してテレビを見よう
- インターナビを利用しよう

# 目次(1)

本書の見かた	4
このシステムでできること	5
こんなにかんたん！行き先を決めよう	6、7
ナビでドライブ！	8、9
このシステムを使いこなすヒント	10~12
目次	13~16

はじめに P17~	安全上のご注意	18、19
	使用上のごお願い	20~24
	主な特長	25~32
	オーディオ/テレビ/ラジオの 設定について	33
	GPS衛星の電波受信と測位	34
	GPS(Global Positioning System)について	34
	受信しにくい場所について	34
	受信するまでの時間について	34
	自律航法とマップマッチング	35
	現在地の誤差について	35
	自律航法&マップマッチング	35
	学習度と現在地	35
	ディスクの取り扱いかた	36、37
	ディスクを入れる/取り出すには	38
	ディスクを取り出すには	38
	SDカード/USBメモリデバイスに ついて	39、40
	SDカードの取り扱いかた	41
SDカードを入れる/取り出すには	42	
SDカードを取り出すには	42	
ディスプレイ部の角度を調整する	43	
各部の名称とはたらき	44	

ここだけ読んで も使えます P45~	地図を表示するには	46、47
	現在地表示について	47
	地図画面の見かた	48、49
	代表的な画面の表示内容について	48
	地図を拡大/縮小する	50
	地図の縮尺レベル	51
	現在地を表示するには	52
	表示された現在地が実際の現在地と 違う場合は	52
	地図表示(方位)を切り替える	53、54
	見たい地域を探す	55~57
	地図を動かす(地図スクロール)	55、56
	スクロールの微調整をする	57
	メニュー項目一覧	58、59
	Quick機能について	60、61
	現在地表示時に <b>Quick</b> ボタンを タッチした場合	60
	地図スクロール時に <b>設定</b> ボタンを タッチした場合	61
	メニューの基本操作	62
地点を登録する	63、64	
登録地点について	64	
自宅を登録する	65~67	
クイック ルート探索をする	68、69	
現在地から目的地までのルート を探索する場合	68	
現在地から自宅までのルート を探索する場合	69	
右画面に地図/情報を表示する	70~75	
Quick MENUの設定を変える	76、77	
音声案内について	78、79	

目的地 P81~	名称で探す[施設50音検索]	82~85
	電話番号で探す	86~88
	個人宅の電話番号を入力した場合	87
	周辺地図が表示された場合	88
	住所で探す	89~92
	施設のジャンルから探す	93~95
	自宅周辺の地図を表示する	96
	周辺にある施設から探す	97~99
	表示できる施設	100~102
	登録地点で探す	103、104
	目的地履歴の中から探す・ 削除する	105、106
	地名から探す[地名50音検索]	107、108

# 目次(2)

<b>目的地</b>	郵便番号で探す.....109
	緯度・経度で探す.....110
	マップコードで探す.....111
	地図から探す.....112

<b>ルート</b>	ルート設定について.....114~116
	ルート探索について.....115
	細街路探索について.....116
	<b>P113~</b> 1ルート探索・複数ルート探索をする.....117~121
	1ルート探索をする.....118~120
	複数ルート探索をする.....121
	ルート案内をストップ/スタートする...122
	ルートを変更する.....123~130
	出発地の変更.....123、124
	目的地の変更.....125
	目的地の追加.....126
	経由地の追加.....126~128
	経由地の変更/削除.....129
	経由地/目的地など地点の入れ替え.....129
	探索条件の変更.....130
	前方の道が通れない(迂回探索).....131
	現在のルートを表示する.....132、133
	ルート詳細情報を表示するには.....132
	デモ走行をする.....134
	経由地をスキップする.....135
	登録ルート.....136、137
	保存したルートの呼び出し.....136
	保存したルートの削除.....137
	現在のルートを保存する.....138
	現在のルートを削除する.....139
	渋滞予測ルート探索をする.....140~142
ルートから外れてしまったら(再探索)...143	
渋滞地点を確認する.....144	

<b>情報</b>	渋滞予測地図を見るには.....146、147
	ETC情報を見るには.....148、149
	交通情報(VICS情報)/ <b>P145~</b> 一般情報の受信について.....150、151
	交通情報(VICS情報)について...152~155
	VICS情報の更新に伴う表示変更について...152
	交通情報(VICS情報)とは.....152
	表示について.....153、154
	マーク一覧表.....155
	VICS放送局.....155

<b>情報</b>	一般情報について.....156、157
	一般情報とは.....156
	表示について.....156
	一般情報の内容(番組)について.....156
	一般情報放送局.....157
	操作の前に.....158
	FM多重の項目一覧.....158
	操作画面について.....158
	交通情報/一般情報を表示するには...159
	操作の流れ.....159
	情報の消去について.....159
	受信する情報(交通情報/一般情報)を選ぶには.....160、161
	交通情報(文字情報)/一般情報を見るには.....162、163
	交通情報(図形情報)を見るには.....164
	緊急情報を見るには.....165、166
	緊急情報について.....166
	選局するには.....167~172
	自動選局.....167、168
	手動選局.....169、170
	エリア選局.....171、172
	放送局をプリセット(保存)するには.....173~175
	プリセットした放送局を呼び出すには...174
	プリセットした放送局に上書きするには...175
	ビーコン情報を見るには.....176
	ビーコンの項目一覧.....176
	ビーコン交通情報を見るには.....176
	地図画面について.....176
	ビーコンの文字情報/図形情報(簡易図形)を見るには.....177
	ビーコンの緊急情報/旅行時間情報を見るには.....178、179
	緊急情報について.....179
エコドライブ情報の設定をする...180~184	
internavi情報/internaviドライブ情報/QQコールについて.....185	

**NAV I 設定**

P187~

メイン画面(地図)の設定を変える … 188、189  
 右画面地図表示の内容を設定する … 190、191  
 3Dの角度を調整する … 192、193  
 地図の色を変える … 194、195  
 表示項目の設定を変える … 196~198  
 ルート案内画面の設定を変える … 199~208  
     全ルートを表示する／しないにするには … 199  
     設定ルートの色を選ぶには … 200  
     交差点情報を表示する／しないにするには … 200  
     交差点拡大図を表示する／しないにするには … 201  
     ルート情報を表示する／しないにするには … 202、203  
     ハイウェイモードを表示する／しないにするには … 202、203  
     方面看板を表示する／しないにするには … 204  
     リアル3D交差点を表示する／しないにするには … 205  
     JCTビューを表示する／しないにするには … 206  
     ETCレーンを表示する／しないにするには … 206、207  
     AV画面中の案内割り込みを表示する／しないにするには … 207  
     右画面AV中にルート案内を表示する／しないにするには … 208  
**ランドマークを設定する … 209、210**  
**カーマークの種類を変える … 211**  
**現在地(自車)の位置を変更する … 212、213**  
**ルート探索条件の設定をする … 214~217**  
**VICS表示の設定をする … 218、219**  
     レベル3表示時の“矢印表示の点滅する／しない”について … 219  
**ビーコン車種設定について … 220**  
**ビーコンの割込み表示を設定する … 221、222**  
**音声案内の音量を調整／案内設定をする … 223~226**  
     音声案内の音量を調整するには … 223  
     音声案内を止めるには … 223  
     合流案内／踏み切りの案内設定を変えるには … 224  
     専用レーン案内の案内設定を変えるには … 224  
     高速走行時の音声切り替え設定を変えるには … 225  
     VICS案内の設定を変えるには … 225  
**平均速度を設定する … 227**  
**登録地点の編集／見る … 228~233**  
**登録地点の並び替えをする … 234、235**  
**自宅／登録地点の地図を呼び出す … 236、237**  
**自宅／登録地点を削除する … 238、239**  
**SDカードから地点を登録する … 240、241**

**NAV I 設定**

パーソナルHPと同期について … 242  
**軌跡を使う … 243~245**  
     軌跡の記録をする … 243  
     軌跡の記録を止める … 244  
     軌跡の表示を止める … 244  
     軌跡を表示する … 244  
     軌跡を削除する … 245  
**internavi設定について … 246**

**システム設定**

P247~

**携帯電話について … 248**  
**オプションボタンの設定をする … 249、250**  
     機能の内容について … 250  
**画像を見る … 251、252**  
**画像を追加する … 253~255**  
**画像をSDカード／USBメモリーにコピーする … 256~258**  
**ETCの各機能を設定するには … 259、260**  
**ETCについて … 261**  
**ETCの基本操作 … 262**  
     ETCを起動する … 262  
     ETCカードを取り出す … 262  
**ETCを利用するには … 263、264**  
     料金所通過表示について … 263  
     予告案内／警告表示について … 263、264  
**フロントカメラ／コーナーカメラ映像を表示するには … 265~270**  
     フロントカメラ／コーナーカメラの設定をする … 265、266  
     フロントカメラ／コーナーカメラ映像を表示するには … 267  
     リアカメラとコーナーカメラを組み合わせで使用する場合 … 267  
     フロントカメラ／コーナーカメラ地点を登録する … 268  
     コーナーカメラガイドを表示するには … 269  
     コーナーカメラガイドの見かた … 269、270  
     カメラの映像について … 270  
**リアカメラ映像を表示するには … 271~273**  
     リアカメラ映像を表示するには … 271  
     リアカメラガイドを表示するには … 271  
     リアカメラガイドの見かた … 272  
     警告文の位置を下げるには … 273  
     カメラの映像について … 273  
**キー操作音を設定する … 274**  
**データを初期化(消去)する … 275、276**  
**地図更新／バージョン情報について … 277**

# 目次(3)

## その他

P279~

画面のイメージを変える	280
画質調整のしかた	281、282
明るさ調整の場合	281
コントラスト調整の場合	282
色の濃さ調整の場合	282
色合い調整の場合	282
初期値に戻すには	282
音声はそのまま画面を消す	283
ボタンの照明について	283
ナビゲーション画面から他のモードに 替える	284
ナビゲーション画面を表示するには	284
ナビゲーション画面を表示したままで 音楽を聞く	285
音楽/音声の再生を止めるには	285
リモコンを使う	286~301
安全上のご注意	286、287
使用上のご注意	287、288
リモコンに電池を入れる	289
リモコンをホルダーから取りはずす	290
リモコンをホルダーに収める	290
リモコンの主な便利機能	291
各部の名称とはたらき	292~299
リモコンの10キーで文字を入力するには	300
10キーでの文字の入力のしかた	301
ルート案内時の注意点	302~305
出発地・経由地・目的地の 設定について	306、307
経由地、目的地の登録のポイント	306
経由地を使って上手にルートを作る	307
地図ソフトについて	308~311
地図に表示される記号	312、313
市街地図(5m/12m/25m/50m スケール)の収録エリア	314~317
細街路(主要市区町村道路)探索エリア	317
VICSの概要	318、319
VICS情報有料放送 サービス契約約款	320、321
故障かな?と思ったら	322~326
こんなメッセージが出たときは	327

## その他

初期設定一覧	328、329
別売品(システムアップ)に ついて	330、331
主な仕様	332
構成内容	333、334
保証/アフターサービスについて	335

## 索引

P337~

索引	338~340
----	---------

※本説明書の画像やイラストは操作を円滑にするためのイメージであり、撮影・印刷条件等により実物(実機)と印象が相違する場合がありますのでご了承ください。

## はじめに

安全上のご注意	18、19
使用上のお願い	20~24
主な特長	25~32
オーディオ／テレビ／ラジオの設定について	33
GPS衛星の電波受信と測位	34
GPS (Global Positioning System) について	34
受信しにくい場所について	34
受信するまでの時間について	34
自律航法とマップマッチング	35
現在地の誤差について	35
自律航法&マップマッチング	35
学習度と現在地	35
ディスクの取り扱いかた	36、37
ディスクを入れる／取り出すには	38
ディスクを取り出すには	38
SDカード／USBメモリデバイスについて	39、40
SDカードの取り扱いかた	41
SDカードを入れる／取り出すには	42
SDカードを取り出すには	42
ディスプレイ部の角度を調整する	43
各部の名称とはたらき	44





# 安全上のご注意




## ●安全に関する表示

「運転者や他の人が傷害を受ける可能性のあること」を回避方法と共に、下記の表示で記載しています。これらは重要ですので、しっかりお読みください。


注意事項は、それを守らなかった場合に起こりうる危害や損害の程度によって、2つに区分しています。

 <b>警告</b>	指示に従わないと、死亡または重大な傷害に至る可能性があるもの
 <b>注意</b>	指示に従わないと傷害を受ける可能性があるもの


また、注意内容の性質を絵表示で示しています。

-  : △は注意を促す記号です。図の中に具体的な注意内容(左図の場合は一般的な注意)が描いてあります。
-  : ⊘は行為を禁止する記号です。図の中に具体的な禁止内容(左図の場合は分解禁止)が描いてあるものもあります。
-  : ●は行為を指示する記号です。図の中に具体的な指示内容(左図の場合は一般的な指示)が描いてあります。


## 警告

-  テレビやDVDビデオなどを見たり、ナビゲーションの操作をするときに、車庫や屋内などの換気の悪いところでエンジンをかけたままにしないでください。  
車内や屋内などに排気ガスが充満し、一酸化炭素中毒のおそれがあります。




-  実際の交通規則に従って走行してください。  
ナビゲーションによるルート計算は、道路の状況やナビゲーションシステムの精度により不適切な案内をすることがあります。必ず実際の交通規則、道路標識に従って走行してください。





-  当商品を分解したり改造しないでください。  
故障の原因となることがあります。

分解禁止



-  フロントカメラ／コーナカメラはあくまで運転の補助手段として使用してください。  
直接目視による安全確認をしながら運転してください。

-  リアカメラシステムは、障害物等の確認のための補助手段として使用してください。  
後退時には、直接後方の安全確認をしながら運転してください。

-  事故防止のため、リモコンの電池は幼児の手の届かないところに保管してください。  
万一、お子さまが飲み込んだ場合は、ただちに医師と相談してください。  
そのままにしておくと、生命に危険を及ぼす場合があります。



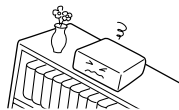
## ⚠ 注意

- ⊘ 安全のため運転者は、走行中に操作しないでください。  
また、走行中に画面を見るときは、必要最小限にしてください。  
前方不注意などにより、思わぬ事故につながるおそれがあります。



- ⚠ 運転者がテレビやビデオを見るときは、必ず安全な場所に車を停車して使用してください。  
テレビやビデオは安全のため走行中は表示されません。

- ⊘ 本機を車載用以外としては使用しないでください。  
感電やけがの原因となることがあります。



- ⚠ 運転中の音量は車外の音が聞こえる程度でご使用ください。  
車外の音が聞こえない状態で運転すると、事故の原因となることがあります。



- ⊘ 液晶パネルを強く押ししたり、強い衝撃を与えないでください。  
液晶パネルのガラスが割れて、けがの原因となることがあります。

- ⊘ 運転者は走行中に地点登録・メモリ設定などの操作をしないでください。  
前方不注意となり事故の原因になりますので、必ず安全な場所に車を停車させてから行なってください。

- ⚠ 本機の放熱部に手を触れないでください。  
放熱部の熱でやけどをする場合があります。

# 使用上のお願い(1)

## 温度について

- 極端に寒いときや、極端に暑いときは、正常に動作しないことがあります。常温に戻ると正常に動作します。
- 長時間、車を屋外に駐車する場合、真夏や真冬は車内の温度が極端に変化していますので、換気したり暖房したりして車内を適温にご使用ください。
- 夏期は車内温度が高くなることがありますので、車内の温度を下げてからお使いください。

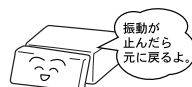


## 結露について

雨の日、または湿度が非常に高いとき、または寒いときヒーターをつけた直後など本機内部の光学系レンズに露(水滴)が生じることがあります。このままですとレーザーによる読み取りができず正常に動作しないことがあります。周囲の状況にもよりますが、ディスクを取り出して放置しておけば、約1時間ほどで結露が取り除かれ正常に動作するようになります。何時間たっても正常に戻らない場合は、販売店にご相談ください。

## 振動について

本機に振動が加わると、まれに音とびなどの症状がみられることがあります。振動が止むと通常の動作に戻ります。



## ディスプレイについて

- 液晶の特性上、直射日光が反射して画面が見づらくなる場合があります。
- ディスプレイの同じ場所に、赤い点や青い点などが現われる場合がありますが、これは液晶ディスプレイの性質上起こるものであり、故障ではありません。
- 寒いところ(0℃以下)で使用する場合、内部照明装置(バックライト)は暗くなりますが、本体の温度が上がると元に戻ります。
- 液晶パネル面にフィルムを貼り付けた場合、貼り付け不良または、ずれがありますと正常に動作しないことがあります。

## 地図画面の表示について

- 最も詳細な地図の縮尺が地域によって異なるため、地図画面を移動して縮尺の異なる地域にいくと、地図が切れたような画面になります。そのまま地図を移動しつづけると、通常の見え方の地図画面に戻り、縮尺は表示中の地域の最も詳細なものに変わります。
- 走行中は、細街路を表示しません。ただし、下記の画面では、走行中も細街路を表示します。
  - ・車のシフトレバーをリバースに入れているときの現在地表示画面
  - ・細街路を走行しているときの現在地表示画面※細街路によっては、走行中も消えないものもあります。  
※細街路とは道幅5.5m未満の道路のことをいいます。

## 車のエンジン停止中／アイドリング中での使用について

- エンジン停止中やアイドリング中に大きな音量で長時間ご使用になりますと、バッテリーが過放電となり、エンジンの始動ができなくなるおそれがあります。
- エンジン停止中に本機を使用しているとき、エンジンを始動すると、電圧降下により、初期の画面に戻ることがあります。



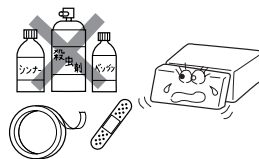
## お手入れについて

### <ディスプレイ部の清掃>

- 画面の汚れは、プラスチックレンズ用メガネふきなどの柔らかく乾いた布で軽く拭き取ってください。手で押ししたり、かたい布などでこすると表面に傷がつくことがあります。
- 画面は指紋やホコリが付きやすいので、時々清掃してください。  
清掃するときは、電源を切り乾いた柔らかい布で軽く拭いてください。(汚れをおとす場合は、中性洗剤に浸しよく絞った布か、エタノールをしみ込ませた柔らかい布でふいてください。)  
ぬれたぞうきん・有機溶剤(ベンジン、シンナーなど)・酸・アルカリ類は使用しないでください。変質する原因となります。また硬いものでこすったり、たいたいたりしないでください。

### <本機の清掃>

- キャビネットやパネル面、その他の付属品にベンジン、シンナー、殺虫剤などの揮発性の薬品をかけると、ケースや塗装が変質しますので使用しないでください。またセロハンテープやばんそうこうなどの粘着性のものを貼ったりすることも、キャビネットを汚したり傷めますので避けてください。
- 化学ぞうきんをご使用の際は、その注意書にしたがってください。



## GPSアンテナについて

- GPSアンテナにベンキや車のワックスなどを塗らないでください。  
受信感度が低下したり、GPS衛星の電波を受信できなくなることがあります。
- GPSアンテナの上に物を置いたり、布等をかぶせたりしないでください。  
GPS衛星の電波を受信できなくなります。



## フィルムアンテナについて

- 一度貼り付けたフィルムアンテナは、はがさないようにしてください。機能が損なわれます。
- フロントウィンドウ(車内側)のお手入れの際、フィルムアンテナは柔らかい布で優しく拭き取るようにしてください。(汚れをおとす場合は、中性洗剤に浸しよく絞った布でふいてください。)有機溶剤(アルコール、ベンジン、シンナーなど)は使用しないでください。
- フィルムアンテナ貼り付け後しばらくたってから稀に気泡が発生することがありますが、油膜が完全に除去されている場合は数日で消えます。

## 免責事項について

- 火災、地震、水害、落雷、第三者による行為、その他の事故、お客様の故意または過失、誤用、その他の異常な条件下での使用により故障または損傷した場合には有料修理となります。
- 本機の使用または使用不能から生じる損害(事業利益の損失、記憶内容の変化・消失など)につきましては、弊社は一切その責任をおいかねます。
- 本機を業務用の車両(タクシー・トラック・バス・商用車など)に使用した場合、保証の対象にはなりません。
- 他人に譲渡または処分などされる際は、本機に入力した個人情報(登録地点の住所や電話番号など)の取り扱い、管理(消去など)は、必ずお客様の責任において消去してください。  
☑「データを初期化(消去)する」275、276ページ
- 本機の使用を誤ったとき、静電気・電氣的なノイズの影響を受けたとき、ハードディスク内のデータや基本プログラムなどが消失・変化した場合、また修理によって登録地点など、登録した内容が消去された場合は補償できません。

# 使用上のお願い(2)

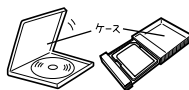
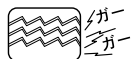
## 画面の曇りについて

雨の日、または湿度が異常に高いとき、エアコンの冷風が直接ナビゲーション本体に当たるとまれに表示に結露による曇りが発生する場合があります。そのままご使用いただくと1時間程度で結露が取り除かれ、曇りはなくなります。

## その他について

- ヒューズを交換するときは、必ず規定容量のヒューズを使用してください。規定容量以上のヒューズや、ヒューズ以外のものを使用すると、故障の原因となります。
- ディスク/SDカード挿入口や操作パネル開閉部にコインなどの異物を差し込まないでください。また、ゴミ等異物を落とさないようご注意ください。故障の原因となることがあります。
- 画面が映らない、音が出ない、変な臭いがするなどの状態でご使用しないでください。そのまま使用し続けると、故障したり煙が出てくるなど、修理不能になるおそれがあります。このようなときはただちに使用を止め、お買い求めの販売店にご相談ください。
- 安全運転への配慮から、走行中に操作できない機能があります。走行中に表示されるメニューは、機能が制限されたものとなります。操作は、安全な場所に停車して行なってください。
- 停車して操作するときは、停車禁止区域以外の安全な場所で行なってください。
- 適切な音量でお聞きください。運転中の音量は、車外の音が聞こえる程度の音量でご使用ください。車外の音が聞こえない状態で運転すると、交通事故の原因となることがあります。
- 本機が動作中に、振動の激しい悪路や道路のつなぎ目などを走行すると、音飛びや映像乱れを起こすことがあります。
- ラジオやTV、FM多重の受信については、アンテナの位置が刻々と変わるため電波の強さが変わったり、障害物や電車、信号機などの影響により良好な受信状態を維持することが困難な場合があります。
- 万一異常が発生したときは、お買い求めの販売店へご相談ください。
- バッテリー交換のときなど当商品への電源供給が止まると、メモリーした内容は消えてしまいます。
- 表示用のディスプレイは、日差し の角度によっては反射光などで見えにくくなる場合があります。
- 本機の近くで強力な電氣的ノイズを発生する電装品を使用すると、画面が乱れたり、雑音が入る場合があります。このような場合は、原因と思われる電装品を遠ざけるか、ご使用をお控えください。
- 目的地(自宅)への案内は、道路の状況やナビゲーションシステムの精度により、不適切な案内をすることがあります。必ず、実際の交通規制に従って走行してください。
- 機器内部に水や異物を入れないでください。万一、異物が入った、水がかかった、煙が出る、変な臭いがするなど異常が起こったら、直ちに使用を中止し、必ずお買い上げの販売店に相談してください。そのまま使用すると事故、火災、感電の原因となります。
- 当該液晶ディスプレイパネルは蛍光管が組み込まれていますので、地方自治体の条例、または、規制にしたがって廃棄してください。
- 操作パネルの開閉時または静止時に無理な力を加えたり、異常な使用をしないでください。
- 操作ボタンや液晶表示部に強い衝撃を加えると、破損や変形など故障の原因となります。
- 操作パネルが閉じるときに、指や異物などの障害物がある場合は、安全機構がはたらいで、自動的に止まります。操作パネルを再び動作させるには、障害物を取り除いた後、**(TILT)** ボタンを押してください。
- 操作パネルを傾けた状態でトレーの代わりに使用しないでください。また、操作パネルに衝撃を加えたりすると破損、変形などの故障の原因となります。
- 操作パネルの液晶表示部表面は傷つきやすいので、硬いものでこすったり、たたいたりしないでください。

- お飲み物や、雨の日の傘などからの水滴で濡らさないでください。内部回路の故障の原因となります。
- 操作パネルの角度を調整するときには、液晶表示部を手で押さえたり、荷重を加えないでください。故障の原因となります。
- ディスプレイ部の上にコップや缶など異物を置いたり、強い力を加えないでください。故障の原因になります。
- 寒冷時にエンジンスイッチをONにした後、バックライトの特性上、光ムラが発生したり輝度が低下して画面が暗くなる場合があります。しばらくすると自然にもとの輝度に戻ります。
- 画面が映らない、音が出ない、変な臭いがするなどの状態で使用しないでください。そのまま使用し続けると、故障したり煙が出てくるなど、修理不能になるおそれがあります。このような時はただちに使用を止め、お買い求めの販売店にご相談ください。
- ディスク／SDカード挿入口等や操作パネル開閉部にコインなどの異物を差し込まないでください。また、ゴミ等異物を落とさないようご注意ください。故障の原因となることがあります。
- 本機がぬれたり、本機の中に水が入ったりしないようご注意ください。火災や感電の原因となります。
- ディスプレイの収納や角度調整時に、手や指を挟まないようご注意ください。けがの原因になることがあります。
- 長時間ご使用にならないときは、ディスク／SDカードを取り出しておいてください。（収納ケース等に保管してください。）長時間、本機内に入れておくと、高温等のためにディスク／SDカードを傷める原因となることがあります。



- 停車して操作するときは、停車禁止区域以外の安全な場所で行なってください。
- 安全運転の配慮から、走行中に操作できない機能があります。走行中に表示されるメニューは機能が制限されたものとなります。操作は、安全な場所に停車してください。

# 使用上のご注意(3)

## スマートキーの動作について

スマートキーが装着されている車両では、スマートキーをナビゲーション本体に近づけると動作しなくなる場合がありますので、十分にご注意ください。

## 地上デジタルテレビ放送の番組受信について

- 地上デジタルテレビ放送では受信状態が悪くなると、映像にブロックノイズが出たり、音かとぎれたり、静止画面、黒画面となり音声が出なくなることがあります。
- 車で移動して受信するため、家庭用デジタルチューナーに比べて受信エリアが狭くなります。また、車の周辺的环境などにより受信状態が変化します。
- 本機の受信周波数帯域に妨害を与える電子機器や無線利用機器など(パソコンや携帯電話など)を車内で使用したり、本機や地上デジタルテレビ放送用アンテナやアンテナコードに近づけると、映像・音声などに不具合が発生する場合があります。それらの機器の使用を中止するか、本機から離してご使用ください。
- 電車の架線、高圧線、ラジオ・テレビ放送の送信所、無線送信所、ネオンサインなどの放電機器の近くで受信すると、映像・音声が乱れたり雑音が入る場合があります。
- 車の走行速度によっては映像・音声が乱れたり、受信できなくなる場合があります。また、停車中でも周囲の車の動き等により受信状態が悪くなり、映像・音声が乱れる場合があります。

## 以下の点にご注意ください。

- 本機は、ロヴィコーポレーションならびに他の権利者が保有する、米国特許およびその他の知的財産権で保護された著作権保護技術を採用しています。この著作権保護技術の使用はロヴィコーポレーションの認可が必要であり、ロヴィコーポレーション認可なしでは、一般家庭用または他のかざられた視聴用だけに使用されるようになっていきます。改造または分解は禁止されています。
- メールなどの地上デジタルテレビ放送に関する情報は、本機に記憶されます。万一、本機の故障、不具合によって、これらの情報が消失した場合でも補償はできません。
- 本機はARIB(電波産業会)規格に基いた商品仕様になっております。将来規格変更があった場合は、商品仕様を変更する場合があります。
- ビデオデッキなどで録画・録音したものは、個人で楽しむなどのほかは、著作権法上権利者に無断で使用できません。
- 各社の商標および製品商標に対しては特に注記のない場合でも、これを十分尊重いたします。
- JBlendは株式会社アプリックスの登録商標です。
- This software is based in part on the work of the Independent JPEG Group.  
本機搭載のソフトウェアは、Independent JPEG Groupのソフトウェアを一部利用しております。
- 本機に搭載されているソフトウェアまたはその一部につき、改変、翻訳、翻案、リバースエンジニアリング、逆コンパイル、逆アセンブルを行ったり、それに関与してはいけません。
- 本機を法令により許されている場合を除き、日本国外に持ち出ししてはいけません。

# 主な特長(1)

## タッチパネル

画面をタッチすることでナビゲーションを操作することができます。

## Quick機能

よく使う機能をQuick MENUに追加することができます。表示する順番も選べ、使いやすいQuick MENUに設定できます。

☞ 「Quick MENUの設定を変える」 76、77ページ

## ナビゲーションとオーディオモード同時起動(使用)可能

ナビゲーションしながら音楽を聞いたり、テレビやDVDビデオ画面を表示中に音声案内を割り込ませたりすることができます。

☞ 「ナビゲーション画面から他のモードに替える」 284ページ

☞ 「ナビゲーション画面を表示したままで音楽を聞く」 285ページ

## 右画面AV表示機能

画面を2分割して左にナビ画面、右にオーディオ画面を同時に表示することができます。

☞ 「■ 右画面にオーディオ画面を表示する場合」 73～75ページ

## 目的地を選ぶだけで行き方を表示

目的地を指定すると、探索されたルートを表示して案内します。目的地は地図上で直接指定したり、施設の名前や種類から絞り込んで探すこともできます。

☞ 「現在地から目的地までのルートを探索する場合」 68ページ

また、あらかじめ自宅を登録しておくことで、現在地から自宅までのルートを表示して案内します。

☞ 「自宅を登録する」 65～67ページ

☞ 「現在地から自宅までのルートを探索する場合」 69ページ

## 電話番号や住所から目的地を検索

電話番号または住所を入力して、地図ソフトに収録されているデータから目的地を探することができます。電話番号は、NTTタウンページの情報の一部(約1,000万件)および(株)ダイケイのテレデータ(個人宅情報 約3,000万件)が収録されています。住所は、約3,500万件収録されています。

※タウンページは東日本電信電話株式会社・西日本電信電話株式会社の登録商標です。

※個人宅の場合は、電話番号登録者の名字の入力が必要です。

☞ 「電話番号で探す」 86～88ページ

☞ 「住所で探す」 89～92ページ

## ハイブリッド検索

名称(施設50音)で「50音順」「距離順」に並び替えたり、「地域」「名称」「ジャンル」のキーワードで施設を絞り込んで探すことができます。

☞ 「名称で探す[50音]」 82～85ページ





# 主な特長(2)

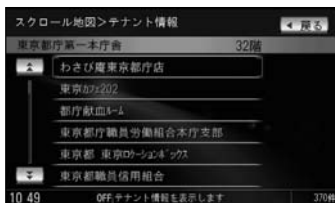
## ビルの中の店舗を探す(テナント情報)

市街地図(5m/12m/25m/50m)から、ビルの中のテナント情報を確認することができます。

施設(物件)にカーソルを合わせると、地図画面下にビル名が表示されます。**設定** ボタンをタッチして、設定メニューを表示させ、**テナント情報** ボタンをタッチするとテナント情報を見ることができます。

☞ 「Quick機能について」 60、61ページ

- ※ ●データが収録されていない施設(物件)はカーソルを合わせても名称は表示されません。
- ビル名のみ収録されている場合は施設の詳細情報を見ることはできません。



## 目的地到着までのルートを表示してくれる

### 目的地に着くまでルート表示(細街路探索)

細街路(主要市区町村道路)を含めたルートの探索を行ないます。探索されたルートは、細街路では黄色で表示されます。

### 的確でわかりやすく、音声で案内(音声案内)

交差点の名称、高速道路の出入口、路線名、JCT、渋滞/規制情報などを音声で案内します。

### 高速道路のジャンクションを拡大表示する(JCTビュー)

高速道路の主要分岐ポイントや、JCT、ランプの出口に近づくと、立体的な拡大図を表示してルートを案内します。

☞ 「ルート案内画面の設定を変える」  
206ページ



### 行き方の候補を5種類表示(複数ルート探索)

目的地までのルートを、違った条件で探索して表示します。

自動(推奨ルート)探索する場合、有料道路を優先する場合、一般道路を優先する場合、距離を優先する場合、道幅を優先する場合の5種類の条件で一度に探索します。

☞ 「複数ルート探索をする」 121ページ



### 進行方向の車線区分を案内する(レーンガイド)

案内する交差点に近づいたとき、交差点の拡大図を表示し、曲がる方向のレーンを橙色で表示させることができます。

- ☞ 「ルート案内画面の設定を変える」  
201ページ



※バーの長さが短くなることによって交差点までの残距離の目安を表します。

### 交差点の名称を表示(交差点情報)

走行中に次の交差点で曲がる方向のレーンを矢印で表示し、交差点情報を表示させることができます。

- ☞ 「ルート案内画面の設定を変える」  
200ページ



### 案内標識を表示(方面看板)

国道をはじめとした一般道の行き先や方向を示す案内標識(看板)を表示させることができます。(全国の主要交差点)

- ☞ 「ルート案内画面の設定を変える」  
204ページ

※すべての交差点において収録されているわけではありません。



### リアル3D交差点を表示(シティリアル交差点拡大)

ルート案内時、交差点を立体的(リアルデザイン)に案内します。(札幌・仙台・さいたま・千葉・東京23区・横浜・川崎・新潟・静岡・浜松・名古屋・京都・大阪・堺・神戸・広島・福岡・北九州の中心部の一部交差点)

- ☞ 「ルート案内画面の設定を変える」205ページ  
※すべての交差点において収録されているわけではありません。



# 主な特長(3)

## 詳しい交通情報を教えてくれる

### VICS対応

文字、図形、地図表示で渋滞情報サービスを受けることができます。

別売のVICS光・電波ビーコンユニットを接続すれば、ビーコンのVICS情報を見ることができます。

☞ 「VICS」 150～175ページ    ☞ 「VICS(ビーコン)」 176～179ページ

### 統計交通情報

日時・曜日を指定して過去のVICS渋滞統計データから渋滞予測地図を表示することができます。

### 一方通行規制箇所がわかる

#### 一方通行表示

5m/12m/25mの市街地図表示のとき、一方通行の規制を道路上に表示します。

### 町並みをリアルに表示してくれる

#### 遠くまで見渡せる視点で立体的に表示

上空より進行方向前方を見下ろす角度で、現在位置周辺を表示(3Dビュー)します。

☞ 「地図表示(方位)を切り替える」 53、54ページ

#### 住所エリアを色分けした地図表示

都道府県や市区町村などの境ごとに色分けして表示します。

### 自律航法\*1 & マップマッチング\*2

自律航法とマップマッチングで、GPS衛星電波の誤差によって起こる実際の現在地と地図上の現在地とのズレを少なくします。また、GPS衛星電波が受信できなくなったときも、自律航法とマップマッチングで、自車マークの位置を補正します。

\*1：本機に内蔵のジャイロセンサーで車の移動方向を判断し、車から得た車速パルスから車の走った距離を算出することにより、現在地を割り出します。

\*2：測位した現在地が道路上にない場合に、地図ソフトに収録されている情報を利用して、自車マークを近くの道路上に表示させる機能です。

### エコドライブ

GPSの信号や車速情報を基に、運転中の加速、減速、速度、アイドリング時間を計算し、「急加速」、「急減速」、「長すぎるアイドリング」などを検知するとチャイムを鳴らし、メッセージを表示してお知らせします。また、計算データを5段階評価したり、グラフで表示することもできます。

☞ 「エコドライブ情報の設定をする」 180～184ページ

## インターネットナビ

インターネットナビ・プレミアムクラブ編(別冊)

**インターネットナビ機能**

Bluetooth機能付きの携帯電話を使用して、渋滞予測情報やVICS情報を利用したルート案内や天気情報やドライブ情報などのインターネットナビサービスを利用できます。

※インターネットナビを利用するには、別途サービスのお申し込みが必要になります。

**QQコール機能**

**QQコール** ボタンタッチでQQコールセンターの電話番号と所在地のマップコードを表示します。オペレータに画面に表示されたマップコードを伝えて、緊急時の付近の病院の案内などを受けたりすることができます。

※QQコール機能を利用するには、別途Honda販売店での入会手続きが必要となります。

## 地上デジタルテレビ

オーディオ編(別冊)

**地上デジタルテレビ放送とワンセグ**

本機に内蔵の地上デジタルテレビ放送用チューナーで、地上デジタルテレビ放送を受信できます。ドライブ先の天気予報や交通情報などのデータ放送を表示したり、番組表から今放送中の番組を選局することもできます。また、携帯・移動体向けサービス「ワンセグ」も見ることができます。

**12セグ/ワンセグ自動切替機能**

お車の受信状況によって12セグ放送とワンセグ放送を自動で切り替えることができます。

## Music Rack

オーディオ編(別冊)

**Music Rack機能**

大容量のハードディスクを搭載し、音楽CDを再生と同時に録音できます。(自動録音設定時) Gracenoteデータベース収録によりタイトル情報を自動付加できます。編集機能によりタイトル名の変更も可能です。お気に入り登録によりあなただけのプライベートアルバムも作成できます。また、録音したCDは自動で(アルバム名/アーティスト名/プレイリスト/ジャンル/ミュージックエスコート)選曲モードに振り分けられるため、絞り込んだ検索ができて便利です。

**マッハリッピング機能**

本機へ音楽CDを録音するとき、音楽を再生させながら最大10倍速の速さで録音する追っかけリッピングと最大14倍速で録音していくマッハリッピングがあります。マッハリッピングにより録音時間の短縮ができて便利です。

**BeatJam対応**

別売のUSB接続コード&BeatJamに付属のBeatJamソフトを使用してパソコン上で管理している音楽ファイルの本機へ転送して聞くことができます。

※パソコンから転送できる音楽データはATRAC3・ATRAC3plusとなります。

# 主な特長(4)

🔊 オーディオ編(別冊)

## CPRM対応

本機では、DVD-R/RWにビデオレコーディングモード(VRモード)にて録画されたディスクが再生できます。さらに、デジタル放送などを録画したCPRM対応のディスクが再生できません。

## マルチ音声機能

お好きな音声言語に切り替えて、お楽しみください。  
※DVDビデオに収録されていない言語には切り替わりません。

## マルチ字幕機能

お好きな字幕言語に切り替えて、お楽しみください。  
※DVDビデオに収録されていない言語には切り替わりません。

## マルチアングル機能

複数のアングルで収録されているDVDビデオの場合、好きなアングルに切り替えることができます。

## 演奏時間表示

トラック経過時間を表示することができます。

## トラックリスト表示

トラックリスト画面を表示し、簡単な操作で聞きたい曲を再生することができます。

## リピート機能

お気に入りの曲を、繰り返し聞くことができます。

## ランダム(順序不同演奏)機能

演奏中のディスクのすべての曲を順序不同で演奏します。

## 道路交通情報

交通情報を受信することができます。

## エリア選局

ナビゲーション画面の自車マークのあるエリアで放送されている放送局を呼び出すことができます。

## 手動選局

FMは0.1MHz、AMは9kHzずつ選局します。

## 自動選局

放送局を自動的に選局します。

## プリセット機能

FM12局、AM12局をプリセットできます。

☞ オーディオ編(別冊)

### ハンズフリー機能

携帯電話を持たなくても通話することができます。

☞ 別冊のオーディオ編 316～351ページ

### リア席モニター対応

別売のリア席モニターに接続し、DVDなどの映像を映すことができます。

☞ 別冊のオーディオ編 358ページ

### VTRコード対応

別売のVTRコードを使用して市販のビデオカメラなどを接続して本機で映像・音声をお楽しみいただけます。

☞ 別冊のオーディオ編 252、253ページ

### リアカメラ対応

リアカメラ車両標準装備または別売のリアカメラを接続すれば、車のシフトレバーをリバースに入れたとき、画面をリアカメラ映像にすることができます。

☞ 271～273ページ

### フロントカメラ対応

別売のフロントカメラを接続し、設定すれば、走行速度が低速になると画面をフロントカメラ映像にすることができます。

☞ 265～270ページ

### コーナーカメラ対応

別売のコーナーカメラを接続し、設定すれば、走行速度が低速になると画面をコーナーカメラ映像にすることができます。

☞ 265～270ページ

### オプションボタン選択機能

本機の(OPTION)ボタン(●)によく使う機能を設定することができます。

※別売のフロントカメラ／コーナーカメラを接続している場合はできません。

☞ 249、250ページ

### ETC対応

別売のETC車載器(ナビ連動タイプ)を接続するとETC車載器(ナビ連動タイプ)の出力データをナビゲーション画面に表示することができます。

☞ 148、149、259～264ページ

### VICSビーコン対応

別売のVICS光・電波ビーコンユニットを接続すると、より詳細な渋滞情報などビーコンの交通情報を取得することができます。

☞ 176～179ページ

# 主な特長(5)

🔊 オーディオ編 (別冊)

## USB対応

別売のUSB接続コード(USBコードA)を使用してUSBメモリデバイス(USBフラッシュメモリ / (ATRAC AD対応) ウォークマン)のJPEG画像データ / 音楽データの再生をすることができます。

🔊 253~258ページ

🔊 別冊のオーディオ編 296~313ページ

## iPod対応

別売のiPod接続コードを使用して、本機で音楽再生や映像再生などのiPodの操作をすることができます。

🔊 別冊のオーディオ編 272~293ページ

## SDカード対応

市販のSDカードを使用してJPEG画像を見る、または追加したり、音楽データを再生することができます。

🔊 253~258ページ

🔊 別冊のオーディオ編 256~269ページ

## オーディオ リモコン スイッチ

運転中にハンドルに付いているスイッチでオーディオの操作をすることができます。

🔊 別冊のオーディオ編 359ページ

## VGAモニター

高解像度(800×480ドット)により高精細なVGAモニターを使用しているため、どこから見ても美しく高画質な画面です。

## 広視野角液晶ディスプレイ

広視野角液晶ディスプレイを使用しているため、どの角度からでも美しい画面を見ることができます。

その他

# オーディオ／テレビ／ラジオの設定について

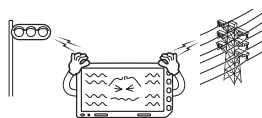
はじめに

【主な特長】

【オーディオ／テレビ／ラジオの設定について】

■バッテリー交換やヒューズ交換などでバッテリーとの接続が断たれたときは、メモリーしたチャンネルや音場、スピーカー仕様などの設定も全て消去されます。

■ラジオやテレビの受信は受信場所によって、電波の強さがかわったり、障害物などの影響により最良な受信状態を維持することが困難な場合もあります。



- 電車の架線、高圧線、信号機、ネオンサインなどの近くやラジオ放送、アマチュア無線の送信用アンテナの近くで受信すると、画像が乱れたり雑音が入る場合があります。
- 電波の特性上、建物や山などが障害物となって受信状態が悪くなることがあります。
- トンネル内にはいたり、放送局から遠ざかると電波が微弱になり受信状態が悪くなります。
- 一部の地域において、ラジオ、テレビ等の送信アンテナ塔付近では、受信している周波数以外の電波の影響により、映像・音声に乱れが生じる場合があります。
- 本機で受信する場合は、家庭で受信する場合に比べると受信可能なエリアが狭くなります。
- 固定受信（ハイビジョン放送等）や携帯受信（ワンセグ）などの放送方式、放送局により、受信状態やエリアが変化します。
- ワイパー、電動ミラー、エアコンのFANなどを動作させると受信感度が悪化する場合があります。

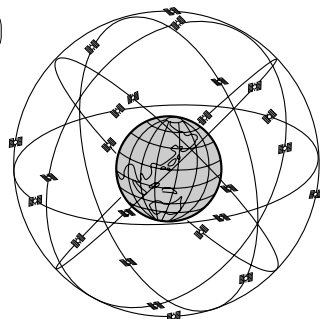


# GPS衛星の電波受信と測位

## グローバル ポジショニング システム GPS(Global Positioning System)について

地球の廻り高度約21,000kmにGPS衛星が米国国防総省によって打ち上げられています。これは主として軍事利用のためですが、民間にもその利用が開放されており、このGPS衛星から送信された電波を利用して、現在地(緯度、経度、高度)を知ることができるシステムです。

※ 本機では高度は表示しません。



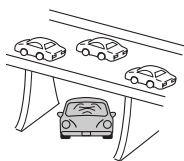
## 受信しにくい場所について

GPS衛星の電波は、付属のGPSアンテナで受信します。GPSアンテナとGPS衛星との間に障害物があると、電波が受信しにくくなり、現在地の測位ができません。

受信に適した場所は、屋外の、電波をさえぎる障害物のない、見晴らしの良い場所です。受信しにくい場所は、以下のようなところです。



- トンネルの中
- 高層ビルに囲まれたところ
- 樹木の密集したところ
- 高速道路の下など



※ 同じ場所でも、次のような理由で受信数が変動します。

- GPS衛星は地球の周りを移動する周回衛星であり、時間によって位置が変わるため。
- GPS衛星の受信は、GPS衛星の周波数に近似した他の電波の影響を受けるため。
- 車内でご使用の電子機器(アマチュア無線機、レーダー探知機、ドライブレコーダー、ETC、本機以外のナビゲーションシステム等)の妨害、または一部の車種に使用されている断熱ガラス、熱遮断フィルム等により電波がさえぎられ受信感が悪化したり受信しなくなることがあるため。

## 受信するまでの時間について

必ず見晴らしのよい場所で行なってください。

GPS衛星から測位に使用できる電波を受信すると、画面左上の方位表示の背景色が青色になり、測位した現在地を表示します。

本機を取り付け後または車のバッテリー等交換後、初めてお使いのときや、長時間ご使用にならなかったときは、現在地を表示するまでに15~20分程度かかることがあります。(これはGPS衛星から送られる衛星の軌道データが12分30秒に1回送られているため、このデータの取り込みに時間がかかるためです。現在地を表示するまでは移動しないでください。) 通常は電源を入れてから数分で表示します。

# 自律航法とマップマッチング

## 現在地の誤差について

GPSを使った測位では、約30m~200m程度の誤差があるため、実際の位置と地図に表示されている現在地の位置が一致しないことがあります。また、GPS衛星は米国国防総省によって管理されていますので、意図的に測定用電波のデータが変更されることがあり、このときは現在地表示の誤差も大きくなります。こうした誤差を補正するために、本機では、車速パルスとジャイロセンサーを利用した自律航法と、マップマッチング機能を備えています。

## 自律航法\*1 & マップマッチング\*2

自律航法とマップマッチングで、GPS衛星電波の誤差によって起こる実際の現在地と地図上の現在地とのズレを少なくします。また、GPS衛星電波が受信できなくなったときも、自律航法とマップマッチングで、自車マークの位置を補正します。

- \*1：本機に内蔵のジャイロセンサーで車の移動方向を判断し、車から得た車速パルスから車の走った距離を算出することにより、現在地を割り出します。
- \*2：測位した現在地が道路上にない場合に、地図ソフトに収録されている情報を利用して、自車マークを近くの道路上に表示させる機能です。

## 学習度と現在地

前述のように、本機はGPS衛星電波による測位のほか、3次元のセンサーと車速パルスで正確な現在地を割り出すしくみになっています。

ナビゲーションは車に取り付けてから、実際の走行を重ねることでデータを蓄積し、次第に各種センサーの精度が向上していきます。

これを一般的に「学習度」と「学習度の向上」といいます。

「距離」「方位(左右方向の回転)」「傾斜」について学習度を上げるには、実際の走行によりますから、取り付けてしばらくの間は「学習度」の不足から現在地にズレが発生する場合がございます。

# ディスクの取り扱いかた

●定期的に、記録面についたホコリやゴミ、指紋などを柔らかい布でディスクの内周から外周方向へ軽く拭いてください。

●ディスクを持つときは記録面をできるだけさわらないようにしてください。

●印刷面や記録面に紙やシールなどを貼り付けたり、キズを付けないようにしてください。

●セロハンテープやラベルなどの糊がはみ出したり、はがしたあとがあるディスクはお使いにならないでください。ディスクが取り出せなくなったり、本機が故障する原因となることがあります。

●ディスクは使用中高速回転しますのでヒビの入ったディスクや大きくそったディスクは使用しないでください。

●長時間使用しないときは汚れ、ゴミ、キズをつけたり、ディスクがそらないように必ずケースに入れ、直射日光の当たる場所には保管しないでください。ディスクがそり、使用できなくなるおそれがあるため、次のような場所には放置しないでください。

- ・特に夏期、直射日光下で閉めきった車のシート、ダッシュボードの上など。
- ・湿気やゴミ、ほこりの多い場所。
- ・暖房器具の熱が直接あたる場所。

●ディスクの汚れやゴミ、キズ、そりなどが音とびなどの誤動作の原因になる場合がありますので、ケースからの出し入れにご注意ください。

●レコードスプレー、帯電防止剤などは使用しないでください。また、ベンジン、シンナーなどの揮発性の薬品をかけるとディスクを傷めることがありますので、使用しないでください。

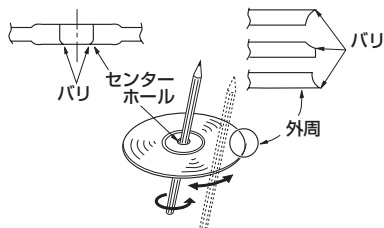
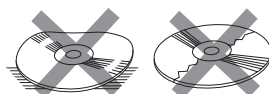
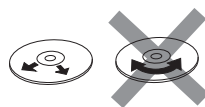
●新しいディスクをご使用になるとき、ディスクを入れても再生しない場合があります。

これはディスクのセンターホールまたは外周にバリがあり、ディスクが正しくセットされないために発生するものです。

この場合には右図のように、あらかじめ鉛筆等でバリを取り除いてからお使いください。

●ディスクを取り出した直後は、ディスク自体が熱くなることがあります。取り扱いには十分お気をつけください。

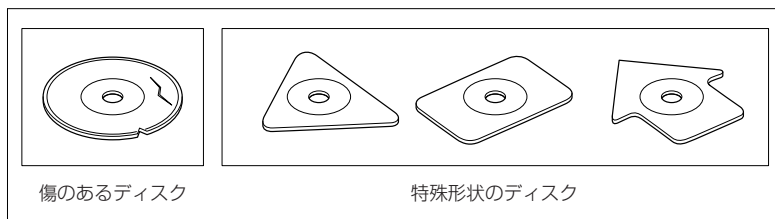
※本体の読み取り性能およびディスクへの影響はございません。



- 8cmディスクには対応していません。

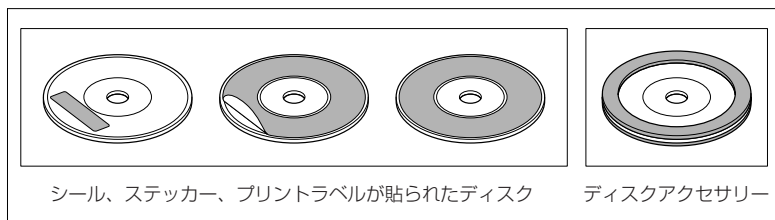
- 特殊形状のディスクはご使用にならないでください。

三角形や四角形、矢印型など特殊形状のディスクや傷のついたディスクは再生できません。本機に使用しますと故障の原因になります。



- ディスクのアクセサリについて

音質向上やディスク保護用として市販されているアクセサリ（ディスクリング、保護シール）はご使用にならないでください。また、プリントラベル類や紙、ステッカーなどが貼られたディスクはご使用にならないでください。ディスクの厚さや外形寸法が変わったり、内部でステッカーなどがはずれたり、ディスクがそり、取り出せなくなるなど、故障の原因になります。



- CD-R/RWディスクのご使用について

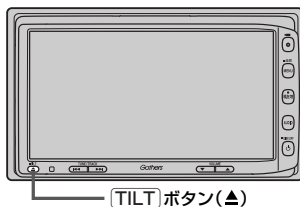
- ・市販のプリンターで作成したラベルなどを貼り付けたディスクはご使用にならないでください。
- ・CDレコーダー（CD-R/RWドライブ）で記録したCD-R/RWは、その特性・汚れ・指紋・傷などにより、再生できない場合があります。
- ・CD-R/RWは、通常の音楽CDに比べて高温多湿環境に弱いため、長時間の車内環境において劣化し、再生できない場合があります。
- ・ディスクの取り扱いについては、ディスクの使用上の注意書きをよくお読みください。
- ・ビデオCDは、再生できません。

# ディスクを入れる／取り出すには

1

**[TILT]** ボタン(▲)を押す。

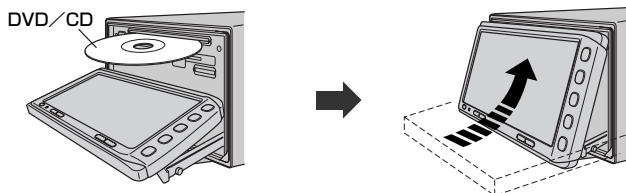
：ディスプレイ部が開きます。



2

ディスク入口にDVD／CDを挿入する。

：自動でディスプレイ部が閉じます。



DVD／CDは印刷面を上にして挿入してください。

## ディスクを取り出すには

1. 上記手順の **1** にしたがって、ディスプレイ部を開き、**[DVD/CDイジェクト]** ボタン(▲)を押してDVD／CDを取り出す。
2. **[TILT]** ボタン(▲)を押して、ディスプレイ部を閉じてください。



アドバイス

- ディスクを取り出したときは、自動でディスプレイ部は閉じません。
- 長時間で使用になった後ディスクが温かくなっている場合がありますが、故障ではありません。
- ディスクを挿入すると、自動でディスクの再生がはじまります。



ディスプレイ部を開閉するときは手などはさまないように注意してください。けがや、ディスプレイ部の故障の原因になります。



## お願い

- ディスクを挿入するときは、他のディスクが挿入されていないことを確認してから挿入してください。すでにディスクが入っていて2枚目を挿入しようとすると、ディスクにキズがつき故障の原因になります。
- ディスプレイ部を開けたまま走行しないでください。急ブレーキ時に開いたディスプレイ部に体が当たったり、思わぬけがをするおそれがあります。
- ディスク挿入途中に**[TILT]** ボタン(▲)を押さないでください。ディスクがディスプレイ部にはさまれ、ディスクの破損またはディスプレイの故障の原因になります。

# SDカード／USBメモリデバイスについて(1)

■SDロゴは商標です。  ■SDHCロゴは商標です。 

■お客様が録音・録画したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。著作権の対象になっている画像やデータの記録された“SDカード”は、著作権法の規定による範囲内で使用する以外にご利用いただけませんので、ご注意ください。

■本機にはSDカード、USBメモリデバイスは付属しておりません。

※それぞれの規格に準じた市販品をお買い求めください。

■本機でお使いいただけるSDカードは以下のとおりです。

本機ではSDカードと互換のない記録メディアには対応していません。

- ・SDメモリーカード
- ・miniSDカード\*
- ・SDHCメモリーカード
- ・microSDカード\* ※専用のアダプターが必要です。


※miniSDアダプター、microSDアダプターを本機内に残さないでください。

- 本機では、DRM(デジタル著作権管理)で保護されたデータの再生はできません。

■32GBまでの容量の“SDカード”“USBメモリデバイス”に対応しています。


■USB接続のカードリーダーには対応していません。

※SDカードを使用する場合は、本機に内蔵しているSDカードスロット(SDカード挿入口)を使用してください。

■本機に接続できるUSBメモリデバイスはUSBフラッシュメモリとATRAC AD対応のウォークマンです。USBフラッシュメモリとATRAC AD対応のウォークマン以外のものは接続しないでください。動作補償できません。  別冊のオーディオ編 296ページ参照

■フォーマット(初期化)について

- SDカードのフォーマットは本機で行なってください。

 「データを初期化(消去)する」275、276ページ

※初期化により消失したデータは元に戻せません。十分に確認したうえで行なってください。本機以外の機器で初期化した場合、本機で使用できない場合があります。本機で初期化を行ってから使用してください。

- USBメモリデバイスのフォーマットは本機で行なえません。お手持ちのパソコンなどで行なってください。

■“miniSDカード”／“microSDカード”を使用する場合は、必ずminiSDカードアダプター／microSDカードアダプターを使用し、正しい挿入方向をご確認ください。アダプターが装着されていない状態で本機に挿入すると、機器に不具合が生じることがあります。また、“miniSDカード”／“microSDカード”が取り出せなくなる可能性があります。必ずアダプターごと抜き差しし、本機にアダプターだけ残さないようにしてください。

■microSDカードをminiSDカードアダプターに装着し、更にSDカードアダプターに装着して使用しないでください。

■SDカード挿入口やUSB接続端子に異物を入れないでください。SDカードやUSBメモリデバイスを破損する原因になります。

■SDカード／USBメモリデバイスへのデータ書込中／読み込み中／ハードディスクにデータ転送中は抜かないでください。また、車のエンジンスイッチを0(OFF)にしないでください。データが破損する恐れがあります。破損した場合、補償できませんのでご容赦ください。

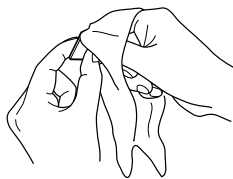
# SDカード／USBメモリデバイスについて(2)

- 静電気や電氣的ノイズを受けたり暖房器具の熱が直接あたる恐れのある場所に、SDカードやUSBメモリデバイスを放置しないでください。データが破壊される恐れがあります。
- 本機内部を保護するため、異常が生じたときは自動的に本機の機能が止まります。画面に出たメッセージにしたがって操作しても動かないときは、故障の恐れがありますのでお買い上げの販売店にご相談ください。
- 本機はSDカードを使用して下記機能を使用することができます。
  - 別冊のオーディオ編 Gracenoteデータベースのアップデート [🔍]「データ管理」56～62ページ
  - 画像の追加やコピー
    - [🔍]「画像を追加する」253～255ページ
    - 「画像をSDカード／USBメモリデバイスにコピーする」256～258ページ
  - 別冊のオーディオ編 音楽再生 [🔍] 255～269ページ  
※対応可能なSDカードにつきましては257ページを参照してください。
- 本機はUSBメモリデバイスを使用して下記機能を使用することができます。
  - 別冊のオーディオ編 Gracenoteデータベースのアップデート [🔍]「データ管理」56～62ページ
  - 画像の追加やコピー
    - [🔍]「画像を追加する」253～255ページ
    - 「画像をSDカード／USBメモリデバイスにコピーする」256～258ページ
  - 別冊のオーディオ編 音楽再生 [🔍] 255～313ページ
- SDカード、USBメモリデバイス内の大切なデータは、バックアップをとっておくことをおすすめします。
- 長時間ご使用になったあと、SDカードやUSBメモリデバイスが温かくなっている場合がありますが故障ではありません。
- SDカードには寿命があります。長期間使用すると書き込みや消去ができなくなる場合があります。
- SDカード、USBメモリデバイスが不良の場合、正常に動作しません。
- SDカードの最適化は行わないでください。
- 書き込み中や読み込み中にSDカードを抜いたり、エンジンを切らないでください。また、静電気や電氣的ノイズの影響を受ける場所では使わないでください。データが破壊されることがあります。
- SDカード内のデータは圧縮しないでください。
- 操作パネルの開閉動作中や、操作パネルの角度を調整した状態では、SDカードを取り出さないでください。記録したデータが破損、消滅することがあります。
- SDカードへアクセスしている状態では、操作パネルを開けないでください。
- SDカードの誤消去防止スイッチを「LOCK」にすると、記録・消去・初期化ができなくなります。

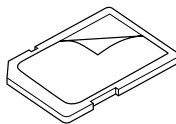
※本書ではSDメモリーカード・SDHCメモリーカードのことをSDカードと記載しております。

# SDカードの取り扱いかた

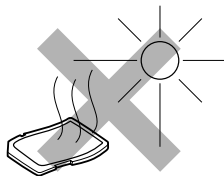
- 定期的にカートリッジの表面についたホコリやゴミなどを乾いた布で拭き取ってください。



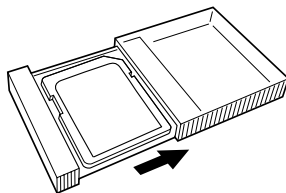
- ラベルがはがれていたり、ネームテープ（ラベル）が貼ってあるSDカードは使用しないでください。



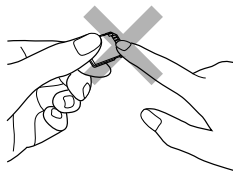
- SDカードは、ダッシュボードの上や直射日光の当たる場所など、高温になる場所に放置しないでください。変形、故障の原因となります。



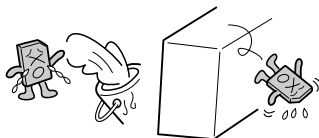
- 持ち運びや保管の際は、必ず収納ケースに入れてください。  
※収納ケースは一例です。



- 端子部には、手や金属が触れないようにしてください。



- 強い衝撃を与える、曲げる、落とす、水に濡らすなどはしないでください。



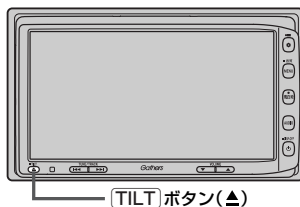


# SDカードを入れる／取り出すには

1

**TILT** ボタン(▲)を押す。

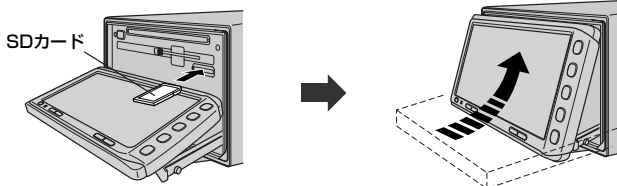
：ディスプレイ部が開きます。



2

SDカード挿入口にSDカードを差し込む。

：自動でディスプレイ部が閉じます。



ラベル面を上にして矢印の方向に“カチッ”と音がするまで挿入してください。

## SDカードを取り出すには

1. 上記手順の **1** にしたがって、ディスプレイ部を開き、SDカードを1回押してから取り出す。
2. **TILT** ボタン(▲)を押して、ディスプレイ部を閉じてください。



アドハイス

- SDカードを取り出したときは、自動でディスプレイ部は閉じません。
- 長時間SDカードを挿入していると、SDカードが温かくなっている場合がありますが故障ではありません。



ディスプレイ部を開閉するときは手などはさまないように注意してください。けがや、ディスプレイ部の故障の原因になります。

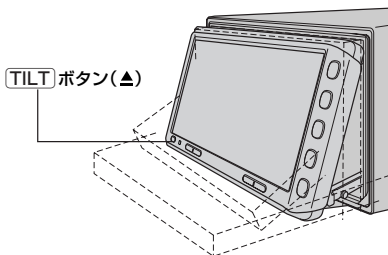


### お願い

- ディスプレイ部を開けたまま走行しないでください。急ブレーキ時に開いたディスプレイ部に体が当たったり、思わぬけがをするおそれがあります。
- SDカード挿入途中に **TILT** ボタン(▲)を押さないでください。SDカードがディスプレイ部にはさまれ、SDカードの破損またはディスプレイの故障の原因になります。
- SDカードの抜き差しは、ナビゲーションモードの場合は必ず車のエンジンスイッチを0(OFF)に、AUDIOモードの場合は必ず操作パネル上の **電源** ボタン(⏻)を押してモードを終了(OFF状態に)させてください。終了させないで抜き差しするとデータやSDカードがこわれるおそれがあります。

# ディスプレイ部の角度を調整する

- 1** **TILT** ボタン(▲)を長押しする。(約0.7秒以上)  
ディスプレイ部が斜め上に1段階傾きます。ボタンを長押しするごとに1段階ずつ傾きます。(全5段階)



角度調整をしても車のエンジンスイッチを0(OFF)にすると、ディスプレイ部は自動で閉じます(収納される)が、次回、車のエンジンスイッチをI (ACC)またはII (ON)にすると、前回角度調整した段階でディスプレイ部が開きます。



角度調整をするときは手や指などをはさまないよう注意してください。  
けがや、ディスプレイの故障原因になります。

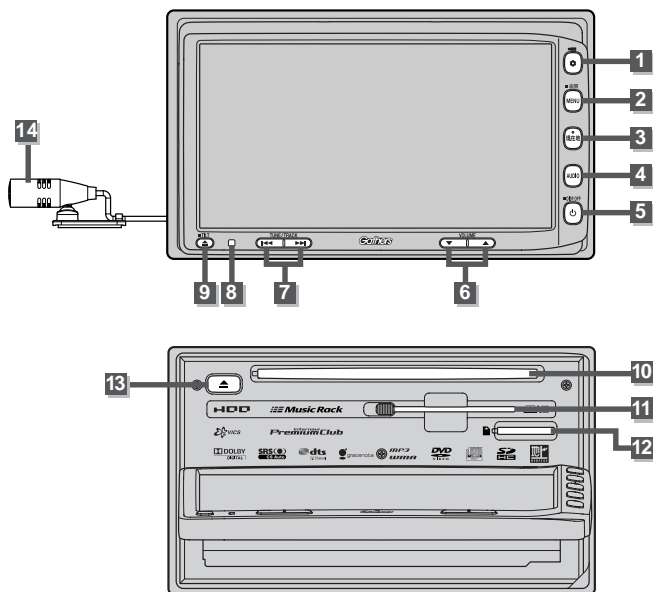
はじめに

〔SDカードを入れる／取り出すには〕

／〔ディスプレイ部の角度を調整する〕

# 各部の名称とはたらき

本機はパネルに配置しているボタン(操作説明では“〇〇ボタンを押す”と説明しています。)と、画面に表示されるタッチボタン(“〇〇ボタンをタッチする”と説明しています。)を直接タッチして操作します。



## 1 OPTION ボタン(🔍)/(📷)

- 別売のフロントカメラ/コーナカメラ映像画面を表示します。(267ページ)
- オプションボタン設定画面で選択した機能の操作をします。(249、250ページ)

## 2 MENU ボタン

- メニュー画面を表示します。(58、59ページ)
- 長押しすると画面設定画面が表示されます。(280~282ページ)

## 3 現在地 ボタン

現在地の地図を表示します。(52ページ)

## 4 AUDIO ボタン

AV MENU画面を表示します。(284、285ページ)

### 電源 ボタン(🔌)

- ## 5
- オーディオ操作をON/OFFするときに使います。(285ページ)
  - 画面を消すときに長押しします。(283ページ)

## 6 VOLUME ボタン(▼/▲)

オーディオの音量を調整します。

## 7 トラック/選局/スキップ ボタン(⏮/⏭)

オーディオ操作で好きなトラックや放送局を選んだり、早送り/早戻しをすることができます。

## 8 リモコン受光部 (288ページ)

## 9 TILT ボタン(▲)

- ディスク/SDカードを出し入れするときに押します。(38、42ページ)
- 画面の角度を調整するときに長押しします。(43ページ)

## 10 ディスク挿入口 (38ページ)

## 11 B-CASカード挿入口

(別冊のオーディオ編197ページ)

## 12 SDカード挿入口 (42ページ)

## 13 DVD/CDイジェクト ボタン(▲) (38ページ)

## 14 マイク

ハンズフリー通話で使用します。  
(別冊のオーディオ編316、317ページ)